ラムサール条約湿地
くじゅう坊ガツル・タデ原湿原

区　域　図

坊ガツル湿原

タデ原湿原

この場所は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」（通称：ラムサール条約。湿地の保全と賢明な利用の促進を目的とする国際条約）に基づき、国際的に重要な湿地の登記簿に記載されている湿地です。

●登録年月日：平成17年11月8日
●面　　積：91ha
　坊ガツル湿原（竹田市）53ha
　タデ原湿原　（九重町）38ha

●湿地の国際的重要性

山岳地域に形成された中間湿地として、国内最大級の規模を有し、多様な地質と地形を反映した植物分布となっており、我が国を代表する湿地である。

これらの植生を維持していくため、毎年春季には、地元の人々によって、野焼きが行われている。

火山の噴煙と草原、森林がおりなす美しい景観のなかで、植物観察・観賞・登山などに沢山の利用者が訪れている。

環境省九州地方環境事務所

～ようこそタデ原湿原へ～

木道からさまざまな湿原植物の観察をお楽しみ下さい。
ここは国立公園です。
湿原植物等を採取し又は損傷することは法律で禁止されています。
木道から湿原へ下りないで下さい。

環境省

三俣山

指山

年山

硫黄山

すがもり峠

星生山

坊原

ヒゴタイ

ヒゴタイ

ヒゴタイ

キスゲ

キスゲ

ハンカイソウ

シラゲガヤ

シモツケソウ

ハンカイソウ

サワヒヨドリ

サワヒヨドリ

タデ原（わら）の説明

長者原の東端および湯沢台の西北麓に、ヌマガヤ・ミズゴケなどの湿地植物が生育するところで、中央部に星生山を源流とする酸性の強い白水川が流れている。この川は、南から北に大きな屈曲を見せながら、横断道路を横切ってへべヶ池の湿地帯を通り鳴子川に注いでいる。

湿原の環境は、春から夏のお花畑、秋のススキの穂波、冬の霧氷の輝きなど四季折々の景観美を見せる。この景観の観賞とミズゴケなどの植物を保護するため、木道が整備され自然研究路となっている。

タデ原でみられる代表的な草花

撮影：上野哲朗氏

サワオグルマ（春）

キスゲ（夏）

アキノキリンソウ（秋）

ノハナショウブ（夏）

ヤマラッキョウ（秋）

チダケサシ

シモツケソウ

キスゲ（ユウスゲ）

ノリウツギ

コオニユリ

コオニユリ

コバギボウシ

ノリウツギ

ハナウド

サワギキョウ

サワギキョウ

チダケサシ

ウバユリ

ヒゴタイ